

大名美恵子です

東海村村松 2401-2 電話・fax 284-0761

携帯電話 090-3961-8578

E-mail toukai@oona-mieko.info

12月議会7日の一般質問から



加齢性難聴の方だけでなく、幅広い年代に対する支援を考えている …… 来年度実施に向けて

大名議員は、関係者の要望を踏まえて2020年3月議会以降、23年12月議会までに4回、「加齢性難聴者の補聴器購入に補助」を求めて一般質問で取り上げてきました。

村には村内の住民団体からも「補助を求める要請」が届いているとのことでしたが、3回までの村の答弁は厚生労働省が実施する「難聴障害の補正による認知機能低下の予防効果を検証するための研究」の結果を待つとして、補助を行う意向は示しませんでした。

専門家が6月議会に陳情＝加齢性難聴者に補聴器購入補助を＝

そうした中、今年6月議会に村内の耳鼻科医師が同趣旨で議会陳情され、議会と執行部は陳情の趣旨説明を受ける中で補聴器装着の意義を学び、議会は9月議会で全会一致で陳情を採択しました。

専門家が関わる中で、12月7日の大名の一般質問で村は、「加齢性難聴は40歳代から始まる方がいること、20歳代から30歳代の若い方でも聞こえにくさに悩んでいる方がいることなどから、村としては、難聴が及ぼす影響として、認知機能の低下、コミュニケーション力の低下、記憶力の低下、うつ病になりやすいなどが考えられることから、加齢性難聴の方だけでなく、幅広い年代に対する支援を考えている」と答弁しました。

村は、「効果的な事業をするためにも、適切な補聴器を装着することや装着後の日常生活の変化等の確認をし、事業を検証していくことも考えている」とのことです。

東海第二原発の防潮堤工事の不良を何も知らずに 行った「再稼働について意見書提出を求める請願」 の審査結果を、村長は「尊重する」と表明。??



原電は、取水口防潮堤の工事状況については、一切説明しなかった。

村は、原電から9月20日に、4月に確認したという鉄筋カゴの高止まりも含めて施工不良の説明を受けていたとのこと。7日の一般質問で「原電から聞いた説明内容を議会にも説明するよう求めたのか？」と質したのに対し、村長は「求めている」と。

原特委は9月21日、工事不良に関し何も知らないまま「再稼働を求める」請願の採決を行い、賛成多数で「採択」にしました。

本来、今採決できる時ではないのに、まるで原電も村も請願審査への影響を避ける配慮をしたかのよう。村長の「議決は尊重する」は大きな問題!!